

明専会基盤強化推進委員会

新たな階層へ「つながる」を受け継がせよう！

明専会会長 高原 正雄（機43）



今年の年頭所感でも申し上げましたが、明専会の昨年は明専会100周年という慶事の年でありました。各種の記念事業を目標通りに推進させることができ、その記念事業を通して、明専会のプレゼンス（存在の意義）を内外へ示すことができました。会員にとっても『会員であることが何とも気分がいい！』そう感じられる美しい明専会』への一步を踏み出した年でもありましたが、新たな明専会100年に向けて、ここは何としても明専会の基盤強化に本腰を入れて取り組むべきと決意致しました。

自他共に認めている通り、明専会は同窓会として全国でもトップレベルの結束力を持って母校を支援して



図1 明専会と九州工大の絆の強さ

いる組織です。図1に示したように、母校は建学の理念に基づいた教育により、今までに輩出した素晴らしい人材はすでに5万名を超えました。彼らは世の中で素晴らしい活躍をし、世のため、人のために大いに貢献しました。そして、事あるたびに燃えるような母校愛と同窓の絆の下に集い、母校のため、後輩のために惜しまない支援を続けてきました。その

結果、母校はさらに良い教育を実践し、素晴らしい人材を輩出するといった他大学も羨むほどの好循環が100年間も脈々と続いてきました。しかし、近年、正会員（会費をきちんと納入している会員）の数は年々減少してきております。毎年1000名強の新卒者が社会に巣立っていますが、正会員への加入は極めて僅かになってきています。図2は会費納入者の推移を示しています。

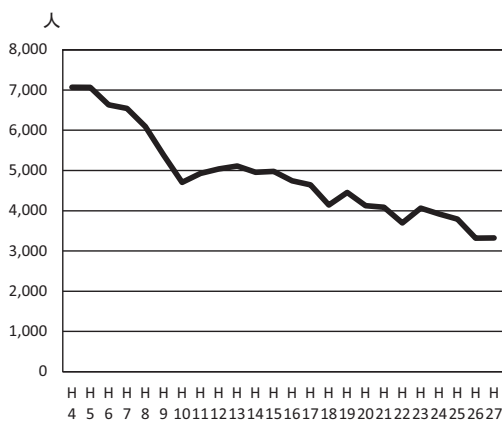


図2 正会員（会費納入会員）の推移

明専会が法人として、安定的な発展活動を継続するための源泉は、何と言っても正会員数であります。明専会の永続的発展のためにも、ここは、何としても会員の減少傾向に歯止めをかけ、さらには、増加傾向

平成28年1月1日発足

本年の方針：新たな階層の絆構築

<学生、若手、女性、海外…etc>

- ★委員長：高原会長
- ★副委員長：中島、牟田副会長
- ★委員：鶴田・石橋・花本・河野理事
- ★特別委員：菊地教授
- ★事務局：永松常務理事

図3 明専会基盤強化推進委員会

に転ずる施策を実行するという決意をいたしました。目標として、10年後（2026年）には正会員数を現在の倍の8000人に増やすことを掲げました。

まず、明専会基盤強化推進委員会（図3）を発足させて、年初より精力的に活動を開始しました。

今年、新たな階層（学生、若手、女性、海外etc）の絆構築に注力することにし、その切っ掛け作りや活性化支援策、活動成果などの発表の場などについて具体的に検討を進めてきております。第1回（1月30日）、第2回（3月5日）、第3回（5月7日）の計3回にわたる協議で、次のような検討が行われております。（詳細は語り尽くせないほど多岐に亘っておりますので、項目紹介のみになります）

- * 学生会員の明専会帰属性を強化する各種の具体策
- * 全国女子会の開催計画
- * 東京支部基盤強化WG活動
- * 中京支部の基盤強化活動
- * タイ明専学友会（2月16日総会）
- * 佐賀・福岡青春寮歌祭参加
- * 広報活動（会報読者拡大記事新説、明専会報Web版、明専会報アンケートetc）
- * 明専会基盤強化補助について
- * その他

明専会100周年を記念して発刊した「MEISEN SPIRITS」（編集長 白土竜一教授）には、過去、現在、そして、未来へと進化する明専会活動がまとめられています。その根底になっているのは「つなげる」ことであります。（75頁から96頁を



ご参照ください）
 今まで諸先輩が築いてこられた「つなげる」を、私たち「壮」「青」の世代が知恵を出し、汗も流して、新たな世代（新たな階層）に受け継がせる責務があります。
 そこで、本プロジェクトを成功させるため、向こう3年間は特別に基盤強化支援を行うことにしました。会員各位のご理解と積極的な参加を期待申し上げます。
 （いすゞ自動車(株)理事）

明専会基盤強化のための支援

1. 支援期間 平成28年1月1日から平成30年12月30日までの間に開催された活動
2. 支援内容
 - (1) 支部で開催する以下の会合に出席する、各若手会員（35才以下）と女性会員に対し、以下の支援を行う。
 - ① 若手の会・女子会：ひとり2,000円/回、2回/年まで
 - ② 新人歓迎会：ひとり2,000円/回、1回/年まで（若手会員や女性会員が新人である場合は、従来の支部活動支援費で支援をする）
 - ③ 支部総会：ひとり1,000円/回、1回/年まで（若手会員や女性会員に対して、従来の支部活動支援1,000円に本支援を追加。学生会員の出席に対しても従来の1,500円に本支援を追加）
 - ④ 支部幹事会：ひとり1,000円/回、2回/年まで（若手会員や女性会員が幹事として出席する場合、従来の支部活動支援1,500円に本支援を追加）
 - ⑤ その他のイベント（講演会など）：ひとり2,000円/回、2回/年まで
 - (2) 明専会報へ、部活動（及び部OB会開催等）の報告記事を執筆した場合、その部に対して10,000円/年の部活動支援を行う。
 - (3) その他、基盤強化事業として推奨できると思われる活動を提案していただければ、総務部会で支援の可否、および支援内容を判断する。
3. 申請方法

上記(1)については、従来の支部活動支援の申請書類の他に、基盤強化支援のための申請書を準備している（明専会HPよりダウンロード可）。当該会合の責任者が、当該支部長の承認を得て明専会本部に申請すること。複数の支部にまたがる会合の場合は、当該会合の責任者が所属する支部長の承認を得ること。上記(2)、(3)については下の問合せ先まで問い合わせること。

問合せ先 明専会本部事務局（常務理事 永松正博）